

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年09月01日

計画の名称	関市における循環のみちの実現（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	関市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		399	A	399	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)	(R4末)	(R7末)
1	関市浄化センターのし尿受入施設設置の計画策定及び設計の実施率を0%(R3)から100%(R5)に増加させる			
	関市浄化センターのし尿受入施設設置の実施率（計画～設計） し尿受入施設の計画～設計を実施すべき施設数／し尿受入施設を設置すべき施設数	0%	66%	100%
2	ストックマネジメント計画策定率を0%(R4)から100%(R5)に増加させる			
	ストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント計画策定済みの施設数／ストックマネジメント計画が必要な施設数	0%	0%	100%
3	内水浸水想定区域図の作成率を0%(R6)から100%(R7)に増加させる			
	内水浸水想定区域図作成済面積 内水浸水想定区域図作成済面積/内水浸水想定区域図作成面積	0%	0%	100%
4	関市浄化センター汚泥処理施設の耐震診断の実施率を0%(R3)から100%(R7)に増加させる			
	関市浄化センター汚泥処理施設の耐震診断実施率 耐震診断実施済みの施設数／耐震診断が必要な施設数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	関市	直接	関市	終末処 理場	新設	下水道広域化推進総合事 業	し尿受入施設の設計及び工事	関市	■	■	■	■	■	171		－
	A07-002	下水道	一般	関市	直接	関市	終末処 理場	改築	ストックマネジメント事 業	ストックマネジメント計画策 定	関市		■	■			108		－
	A07-003	下水道	一般	関市	直接	関市	管渠（ 雨水）	新設	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	内水浸水想定区域図の作成	関市				■	■	73		－
	A07-004	下水道	一般	関市	直接	関市	終末処 理場	改築	処理場地震対策事業	耐震診断	関市					■	47		－
											小計						399		
										合計							399		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関市基盤整備部下水道課にて評価を実施	令和8年4月
	公表の方法
	関市公式HPにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	関市浄化センターのし尿受入施設設置の計画策定及び設計を実施することができた。 ストックマネジメント計画を策定することができた。 内水浸水想定区域図を作成することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
関市浄化センターのし尿受入施設の建設に着手する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
4			
	最 終 目標値	100%	事業スケジュールの見直しにより今後実施予定
	最 終 実績値	0%	